

歯科大学・歯学部数、歯科大学・歯学部定員数

出典：(財)厚生統計協会「国民衛生の動向」
資料：厚生労働省医政局歯科保健課調べ など

【歯科大学・歯学部数推移】

十分な歯科医療提供体制が無かった1960年頃までは、日本には歯科医師養成大学は7校しかありませんでした。高度成長期時代に入り、同時に蝕歯患率の高さが社会問題となってきたため、国は歯学部の新設を推進し始めました。そして65年までに6校の歯学部が設置され、その後80年代前半にかけて歯学部が16校に新設・増設されました。

現在、国立大学法人11校、公立大学法人1校、私立大学17校となっています。

学校数	大学				歯科医学 専門学校
	国立	公立	私立	計	
昭和20年度	－	－	－	－	8
25	2	1	4	7	
30	2	1	4	7	
35	2	1	7	7	
40	5	1	9	13	
45	7	1	15	17	
50	7	1	17	23	
55	11	1	17	29	
60	11	1	17	29	
平成2年度	11	1	17	29	
3	11	1	17	29	
4	11	1	17	29	
5	11	1	17	29	
6	11	1	17	29	
7	11	1	17	29	
8	11	1	17	29	
9	11	1	17	29	
10	11	1	17	29	
11	11	1	17	29	
12	11	1	17	29	
13	11	1	17	29	
14	11	1	17	29	
15	11	1	17	29	
16	11	1	17	29	
17	11	1	17	29	

【歯科大学、歯学部の学校数推移】

(各年4月1日現在)

1歯大2学部は2校として計上

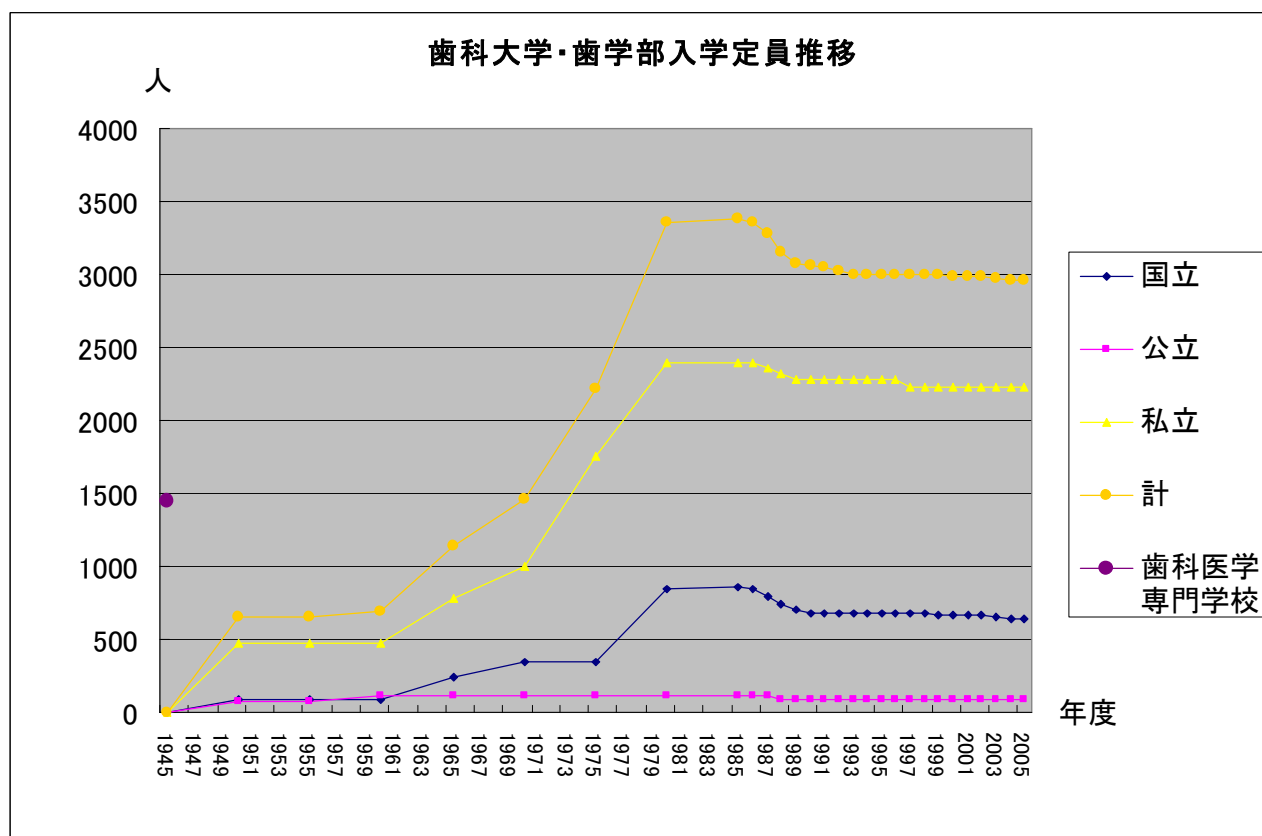
【歯科大学・歯学部入学定員数推移】

入学定員の合計は国公立が約 500 人(12 大学)、私立が約 2,500 人(17 大学)の計約 3000 人弱となっています。(ここでいう入学定員とは学則で決められた入学定員です。)

入学定員						計	歯科医学 専門学校
		国立	公立	私立			
昭和 20 年度	1945	-	-	-	-	1450	
25	1950	90	80	480	650		
30	1955	90	80	480	650		
35	1960	90	120	480	690		
40	1965	240	120	780	1140		
45	1970	340	120	1000	1460		
50	1975	340	120	1760	2220		
55	1980	840	120	2400	3360		
60	1985	860	120	2400	3380		
61	1986	840	120	2400	3360		
62	1987	800	120	2360	3280		
63	1988	740	95	2320	3155		
平成元年度	1989	700	95	2280	3075		
2	1990	685	95	2280	3060		
3	1991	680	95	2280	3055		
4	1992	680	95	2280	3025		
5	1993	680	95	2280	3005		
6	1994	680	95	2280	3005		
7	1995	680	95	2280	3005		
8	1996	680	95	2280	3005		
9	1997	680	95	2230	3005		
10	1998	680	95	2230	3005		
11	1999	670	95	2230	2995		
12	2000	665	95	2230	2990		
13	2001	665	95	2230	2990		
14	2002	665	95	2230	2990		
15	2003	655	95	2230	2980		
16	2004	640	95	2230	2965		
17	2005	640	95	2230	2965		

【歯科大学、歯学部の定員推移】 (各年 4 月 1 日現在)

- ・昭和 56 年度以降には大阪大学歯学部の 3 年次編入学定員を含む
- ・平成 11 年度以降には東京医科歯科大学歯学部、徳島大学歯学部の 3 年次編入学定員を含む
- ・平成 12 年度以降には新潟大学歯学部、岡山大学歯学部、広島大学歯学部、九州大学歯学部、長崎大学歯学部の 3 年次編入学定員を含む
- ・国立大学は平成 16 年 4 月に独立行政法人化し、国立大学法人となった



【歯科医師の需給に関する検討会】

日本における歯科医師の需給に関しては、厚生労働省が1986年と1998年に検討会を設けています。

「歯科医師の需給に関する検討会」の議事録要旨は以下をご覧ください。

第1回議事要旨	H9.7.30	http://www1.mhlw.go.jp/shingi/s0930-1.html
第2回議事要旨	H9.9.16	http://www1.mhlw.go.jp/shingi/s0916-2.html
第3回議事要旨	H9.11.18	http://www1.mhlw.go.jp/shingi/s1118-3.html
第4回議事要旨	H10.2.23	http://www1.mhlw.go.jp/shingi/s0223-1.html
第5回議事要旨	H10.3.11	http://www1-bm.mhlw.go.jp/shingi/s9803/s0311-1.html
第6回議事要旨	H10.3.20	http://www1.mhlw.go.jp/shingi/s9803/s0320-2.html
第7回議事要旨	H10.4.22	http://www1.mhlw.go.jp/shingi/s9804/s0422-2.html

【募集定員について】

入学定員と募集定員は別のものです。

入学定員とは学則で決められているもので、募集定員とは異なります。募集定員とは実際にその年で募集している人数です。編入学制度がなければ、入学定員×6が大学、歯学部 の収容定員となります。

		入学定員				募集定員数			
		国立	公立	私立	計	国立	公立	私立	計
昭和 20 年	1945	-	-	-	-				
度	1950	90	80	480	650				
25	1955	90	80	480	650				
30	1960	90	120	480	690				
35	1965	240	120	780	1140				
40	1970	340	120	1000	1460				
45	1975	340	120	1760	2220				
50	1980	840	120	2400	3360				
55	1985	860	120	2400	3380	860	120	2400	3380
60	1986	840	120	2400	3360	840	120	2313	3273
61	1987	800	120	2360	3280	800	120	2145	3065
62	1988	740	95	2320	3155	740	95	2120	2955
63	1989	700	95	2280	3075	700	95	1952	2747
平成元年	1990	685	95	2280	3060	685	95	1952	2732
度	1991	680	95	2280	3055	680	95	1947	2722
2	1992	680	95	2280	3055	680	95	1947	2722
3	1993	680	95	2280	3055	680	95	1945	2720
4	1994	680	95	2280	3055	680	95	1939	2714
5	1995	680	95	2280	3055	680	95	1939	2714
6	1996	680	95	2280	3055	680	95	1939	2714
7	1997	680	95	2230	3005	680	95	1939	2714
8	1998	680	95	2230	3005	680	95	1939	2714
9	1999	670	95	2230	2995				
10	2000	665	95	2230	2990				
11	2001	665	95	2230	2990				
12	2002	665	95	2230	2990				
13	2003	655	95	2230	2980				
14	2004	640	95	2230	2965				
15	2005	640	95	2230	2965				2667
16	2006								
17	2007								

歯科医師の需給に関する検討会報告書（概要）

<http://www1.mhlw.go.jp/houdou/1005/h0529-1.html> で、

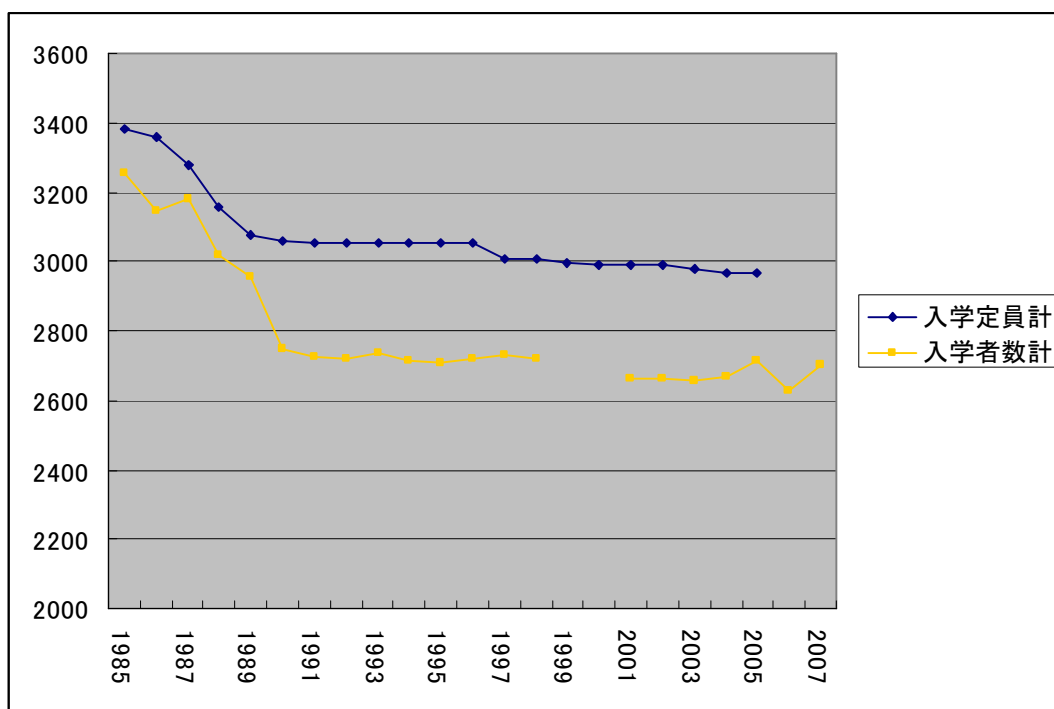
「○ 歯科医師の需給については、昭和 61 年の「将来の歯科医師需給に関する検討委員会」の最終意見に基づき、新規参入歯科医師の 20%削減を行ってきたところであり、その結果、歯科大学の入学定員の 19.7%の削減が達成された。」とあります。

ここでの、19.7%とは、昭和 60 年での募集定員 3380 人に対して、平成 6 年での募集定員は 2714 人となっており、 $2714 \div 3380 \text{ 人} = 80.3\%$ 、つまり 19.7%減とされるわけです。（上の表の薄黄色塗りつぶし部分）

【入学定員と入学者数について】

入学定員と入学者数については次のようになっています。
 入学定員と募集定員には差があるため、入学者数とも差があります。

	入学定員				入学者数				入学者一定員数			
	国立	公立	私立	入学定員計	国立	公立	私立	入学者数計	国立	公立	私立	計
1985	860	120	2400	3380	847	120	2285	3252	-13	0	-115	-128
1986	840	120	2400	3360	825	120	2201	3146	-15	0	-199	-214
1987	800	120	2360	3280	800	120	2258	3178	0	0	-102	-102
1988	740	95	2320	3155	741	97	2180	3018	1	2	-140	-137
1989	700	95	2280	3075	687	95	2173	2955	-13	0	-107	-120
1990	685	95	2280	3060	678	96	1977	2751	-7	1	-303	-309
1991	680	95	2280	3055	673	99	1951	2723	-7	4	-329	-332
1992	680	95	2280	3055	673	95	1949	2717	-7	0	-331	-338
1993	680	95	2280	3055	675	94	1968	2737	-5	-1	-312	-318
1994	680	95	2280	3055	674	95	1945	2714	-6	0	-335	-341
1995	680	95	2280	3055	677	95	1937	2709	-3	0	-343	-346
1996	680	95	2280	3055	677	95	1950	2722	-3	0	-330	-333
1997	680	95	2230	3005	681	95	1954	2730	1	0	-276	-275
1998	680	95	2230	3005	678	95	1945	2718	-2	0	-285	-287
1999	670	95	2230	2995								
2000	665	95	2230	2990								
2001	665	95	2230	2990	627	95	1940	2662	-38	0	-290	-328
2002	665	95	2230	2990	623	96	1944	2663	-42	1	-286	-327
2003	655	95	2230	2980	607	97	1952	2656	-48	2	-278	-324
2004	640	95	2230	2965	642	95	1931	2668	2	0	-299	-297
2005	640	95	2230	2965	690	96	1928	2714	50	1	-302	-251
2006					598	96	1936	2630				
2007					689	96	1918	2703				



【編入学について】

国立大学における編入学定員の設定状況は次のようになっています。（平成 19 年 5 月 1 日現在）

いずれも第 3 年次編入学定員です。

東京医科歯科大学	歯学部歯学科	5 名
新潟大学	歯学部歯学科	5 名
大阪大学	歯学部歯学科	5 名
岡山大学	歯学部歯学科	5 名
広島大学	歯学部歯学科	5 名
徳島大学	歯学部歯学科	5 名
九州大学	歯学部歯学科	5 名
長崎大学	歯学部歯学科	5 名

私立大学における編入学定員の設定状況（平成 19 年 5 月 1 日現在）は次のようになっています。

私立歯科大については、愛知学院大学歯学部、日本大学松戸歯学部、東京歯科大学、北海道医療大学歯学部、日本大学歯学部、松本歯科大学が若干名について募集を行っているようです。以下の文書を参考にしてください。

<http://www.heart.dnc.ac.jp/center/hennewgakuichirankokuritsu.pdf>

<http://www.heart.dnc.ac.jp/center/hennewgakuichiranshirtsu.pdf>

この編入学については、次のようなニュースがあります。

http://www.independent.co.jp/news/dent_bn_view.cgi?dat=20000119 より引用。

● 1 3 学部 7 5 人が定員削減 国立大医・歯学部

国立大学医学部・歯学部の平成 1 2 年度入学定員は、1 2 大学で医学部等 8 学部、歯学部 5 学部の計 1 3 学部 7 5 人が削減される方針だ。しかし、このほとんどは第 2 年次および 3 年次の編入学定員の増加で相殺されるため、純減は新潟大歯学部の 5 人だけ。一方、大学院の医・歯分野は計 2 4 1 人を増員する。

医学部・歯学部の入学定員を削減する大学では、その削減数に合わせて 2 年次や 3 年次の学士編入学の定員枠を拡大する。

たとえば、北海道大医学部や広島大学医学部では入学定員をそれぞれ 5 人削減し、平成 1 4 年 4 月に 3 年次編入学を 5 人ずつ受け入れる。

学科の新設は、新潟大医学部保健学科（定員 1 6 0 人）と鳥取大医学部保健学科（同 1 2 0 人）。

一方、大学院では京都大医学部に社会健康医学系、信州大医学部に臓器移植細胞工学医科学系、旭川医科大医学系と香川医科大医学系に看護学、などの専攻を新設する。

2008/01/31

みんなの歯科ネットワーク

チュー